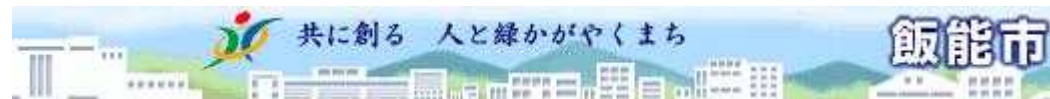


MCPC award 2009
全国初導入
緊急速報「エリアメール」サービスの活用

～ あんしん・あんぜんな街づくりを目指して～



2009年3月
埼玉県飯能市





飯能市の紹介

概要



総人口: 83,833人 (2009年3月1日)

世帯数: 32,516世帯 (同上)

面積: 約193km²

アクセス: 西武池袋線で池袋から約40分



市の花 ツツジ



市の木 スギ



市の鳥 ウグイス



緑と清流のまち・奥武蔵の玄関・森林文化都市



森林文化都市
イメージキャラクター
夢馬 (むーま)



毎年11月に行われる「飯能まつり」では、
例年10万人前後の人出で賑わう。





飯能市の特色ある取り組み

エコ活動

方針：自然・文化・人のネットワークによって発展する活力のある地域

市独自施策：「エコネットはんのう」を設立

自然環境部会、地球環境部会、生活環境部会の3部会に別れて活動。環境に関するイベントや勉強会の開催も行われている。



2008年7月6日
総数約20,000個の紙カップキャンドルを飯能河原に並べ、HANNOの文字や地球の形を浮かべた。
また、園児の描いた灯籠を流した。

子育て・福祉

高齢者福祉スローガン：
住み慣れたはんのうで自分らしく生き生きと！
介護予防の講習会やサークルの紹介を行っている。



筋トレの達人
元気アップ教室！

他にも


「パパ・ママ応援ショップ事業」を、県と共同で実施。協賛店舗の優待カードを配布し、援助を行う。



飯能市での災害対策(危機管理室)

飯能市は市の4分の3が山間部であるため、**土砂災害**が起こりやすい。



 : 特に土砂災害が起こりやすいとされているエリア

土砂災害防止法に基づく警戒避難体制の整備としての**情報伝達**が、大きな課題となっている。

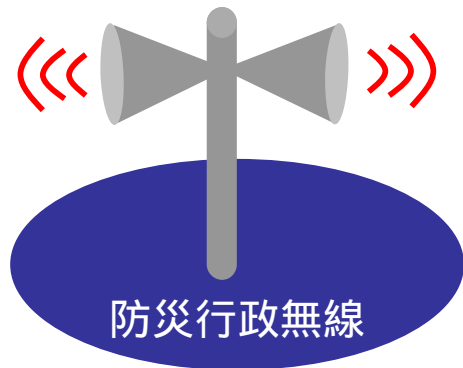
【飯能市危機管理室】

- ・**市長直轄組織**であり、危機管理、国民保護、地域防災計画、防災会議・災害対策本部、防災行政無線等を担当している。
- ・これまで、市民や観光客への避難関連情報や土砂災害警戒情報等の伝達は、防災行政無線やEメールを用いているが、**更なる迅速化、効率化**を検討し実現することも、危機管理室の大きなミッションである。



既存の情報伝達手段と問題点

災害が発生した際は、様々な手段を利用して住民へ迅速に情報を届けるよう努めているが、既存の情報伝達手段にも限界がある。



配信側

・山間部が多いため、配備に大きなコストがかかる。

受信側

・暴風雨や夜間では、屋内まで音声が届かず、気がつかないことがある。



配信側

・回れる範囲が限られている。

受信側

・聞き取れないことがある。
・避難場所等の重要な情報が、文字に残らない。



配信側

・メールアドレス登録者が少ない。
・メールアドレス管理にコストがかかる。

受信側

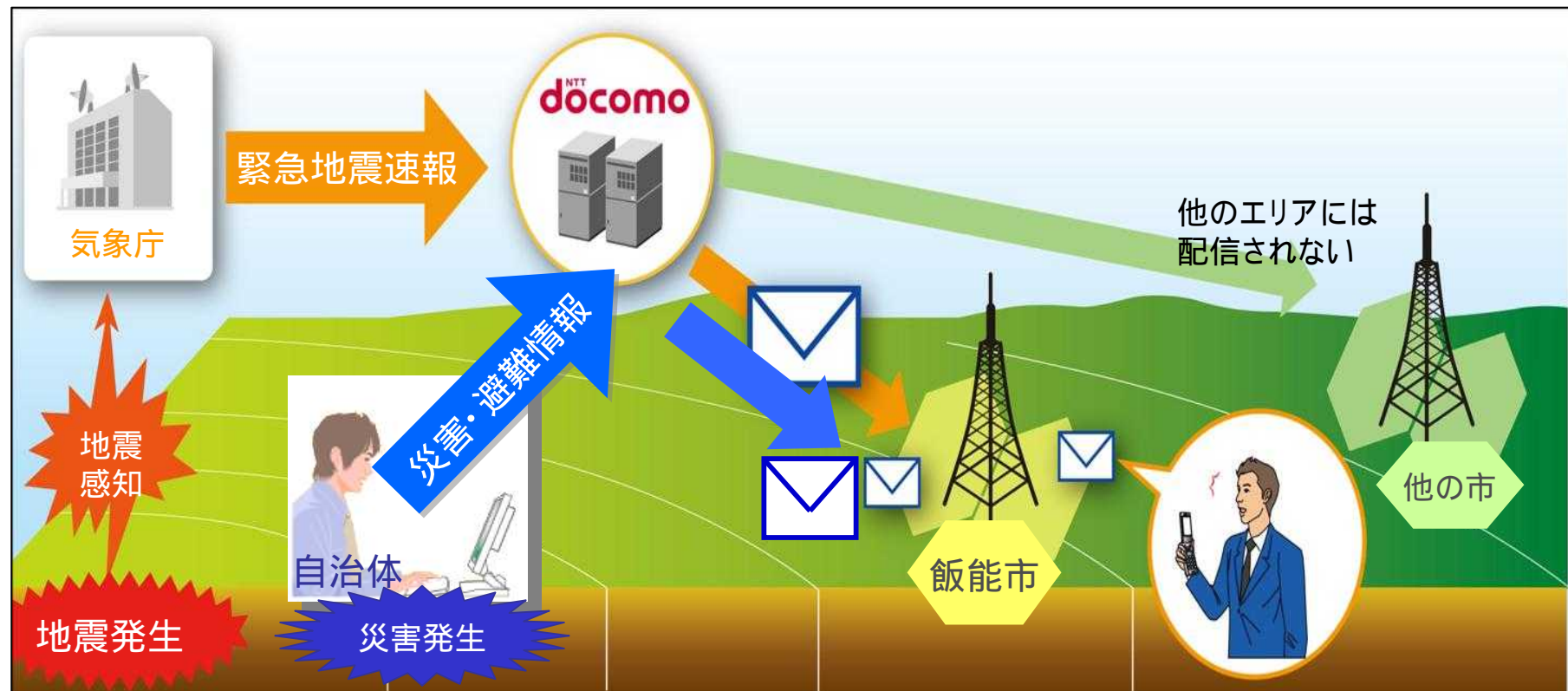
・通信の規制が発生し、遅延となる可能性がある。
・受信者に通信費負担が発生する。





エリアメールの紹介

- ・エリアメールとは、災害情報や避難情報を特定のエリアにある携帯電話へ一斉にメール配信を行うことが可能なサービス。
- ・気象庁からの緊急地震速報も同じ仕組みを利用しており、大きな揺れが想定されるエリア内の携帯電話に配信されている。





エリアメールの特徴

エリアメールには大きく5点の特徴がある。

メールアドレスの管理が不要

メールアドレスを用いず、配信対象エリアの携帯電話に対して配信するため、送信元による配信先アドレスの管理が不要。

エリア内なら誰にでも情報配信が可能

エリアメールは配信対象エリアの携帯電話に対して配信されるため、住民はもちろん、一時的にエリア内にいる通勤客、観光客等も配信対象になる。

メール受信者の料金負担無し

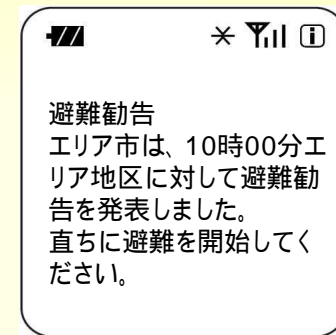
通信料、月額利用料は無料。

携帯画面にポップアップで表示

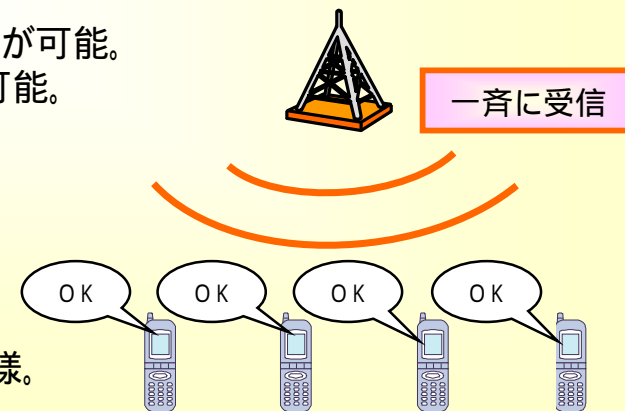
受信すると専用着信音とポップアップ表示で素早く情報を得ることが可能。そのため、複雑な操作をすることなく、災害情報に気がつくことが可能。

短時間で同報配信が可能

エリアメールはiモードメールのように宛先ごとに個別配信せず、ブロードキャスト(同報)配信が可能のため、多数の携帯電話にメッセージの一斉配信が可能。また、パケット通信とは違い、輻輳(通信の混雑)が起りにくい仕様。
ふくそう



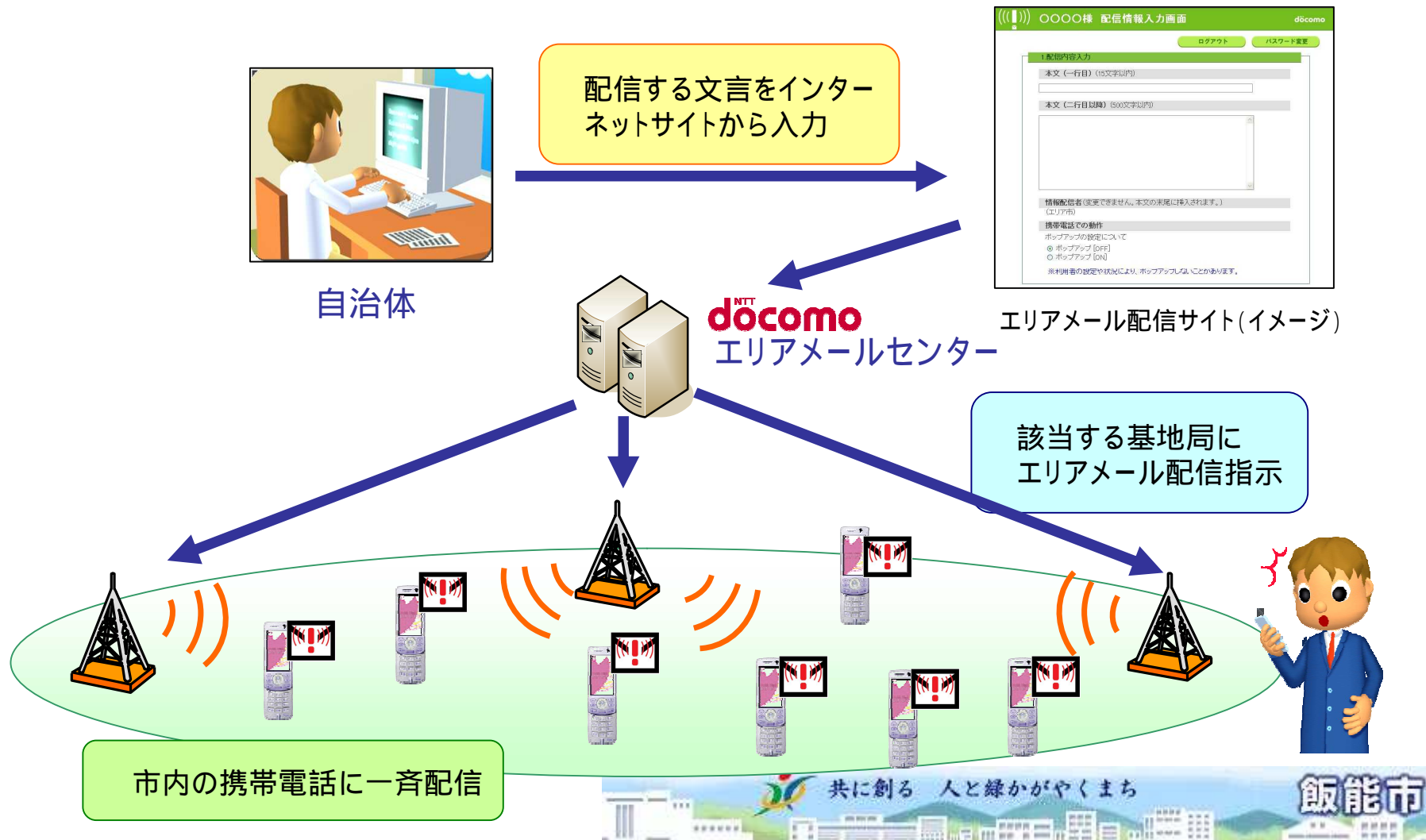
ポップアップ画面(イメージ)





配信作業から着信までの流れ

インターネットからエリアメール配信サイトにアクセスし、配信したい文言を入力するだけでエリアメールを配信できる(特別な設備は不要)。





飯能市の導入効果

効果的な情報伝達

飯能市内に限定した情報配信が可能となった。

アドレス管理が不要

メールアドレスの収集や管理を削減できた。

幅広い方々への情報伝達が可能に

住民の1～2%程にしか配信できなかった一般メールと比較し、2008年末時点で15%程の方々に対して、文字による迅速な情報伝達が可能となった。今後は更なる数字の上昇が望める。

迅速な情報伝達

導入前に行われた実際のメール配信試験では、飯能市災害対策本部から16km離れた複数の訓練会場まで回線の混雑なく10秒程度でメール配信ができ、情報配信の速報性と同報性が確保できた。



付加価値

簡易な操作

配信のための操作についても比較的簡易で、担当職員の**負担が小さい**。

低コスト

導入に関する初期費用と年間の運用費用も、他の伝達手段に比べて**格段に安価**である。

住民の負担

受信側(住民)は受信にかかる通信料、情報料は無料であることから、**一切の負担がない**。



おわりに

エリアメールは情報配信手段を増やす一つの有効な策であり、今後も音声による情報伝達と併用していきます。
住民や観光客の方々が『**あんしんして過ごせる街**』を目指し続けます。

飯能市の想い

街の歴史・文化、人々の情感は、市域の森林により育まれてきました。環境との調和や資源の循環利用の中で森林の恵みを生かしていくことが求められる時代です。森林と人とのより豊かな関係を築きつつ、自然と都市機能とが調和する街を目指しています。